



- 1 ■ 県大jimanって?
- 7 ■ 特集2 自転車ツアー
- 9 ■ クラブ&サークル
- 10 ■ インフォメーション

県大イベントカレンダー

月	日	曜日	内容
2	4	火	調整期間(補講等)開始(-10日)
	10	月	後期授業終了 大学院入学試験(人間看護学研究科人間看護学専攻修士課程2次募集)
12-18	水-火		後期定期試験
	13	木	大学院入学試験(人間文化学研究科生活文化学専攻博士前期課程) 大学院入学試験(人間文化学研究科生活文化学専攻博士後期課程) 大学院入学試験(人間文化学研究科地域文化学専攻博士後期課程)
	14	金	大学院入学試験(人間文化学研究科地域文化学専攻博士前期課程)
	25	火	一般選抜試験前期日程
	27	木	大学院入学試験(環境科学研究科環境動態学専攻博士前期課程) 大学院入学試験(環境科学研究科環境動態学専攻博士後期課程) 大学院入学試験(環境科学研究科環境計画学専攻博士前期課程)
27-28	木・金		大学院入学試験(環境科学研究科環境計画学専攻博士後期課程)
	28	金	大学院入学試験(工学研究科先端工学専攻博士後期課程)
3	12	水	一般選抜試験後期日程
	21	金	学位記授与式
	24	月	春季休業開始
	29	土	リサイクル市
4	4	金	入学式/新入生オリエンテーション
	7	月	全学オリエンテーション、春季休業終了
	8	火	前期授業開始 定期健康診断(学部4回生、大学院M2生)
	12	土	新入生TOEICテスト
5	7	水	月曜日科目の通常授業 定期健康診断(学部2回生、大学院D生)
	8	木	火曜日科目の通常授業
	9	金	定期健康診断(学部1回生)
	中旬		第8回運動会 春期公開講座(毎土曜日 計5回予定)
6	6	金	開学記念日(金曜日科目の通常授業)
	14	土	湖風夏祭
7	5	土	体育会京都府立大学定期交流戦「京滋戦」
	21	月・祝	月曜日科目の通常授業
	25	金	調整期間(補講等/金曜日科目)
	26-27	土・日	オープンキャンパス
	28	月	調整期間(補講等/月曜日科目)
	29	火	調整期間(補講等/火曜日科目)
	30	水	調整期間(補講等/水曜日科目)
	31	木	調整期間(補講等/木曜日科目)、前期授業終了
8	1-7	金-木	前期定期試験
	8	金	夏季休業開始
	18-20	水	調整期間(集中講義)

滋賀県立大学広報誌「県大jiman」第14号

発行 | 滋賀県立大学広報委員会
編集 | 広報誌作成グループ
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
TEL | 0749-28-8200 FAX | 0749-28-8470
URL | <http://www.usp.ac.jp/>
E-mail | keiei_senryaku@office.usp.ac.jp
発行日 | 2014年2月

表紙モデル ▶ 環境建築デザイン学科4回生 伊藤 雄樹さん

特集
1

大学内に数多あるゼミ。それぞれどんな活動をしているのか、気になりますよね?!というわけで、今回は県大が誇る2つのjimanなゼミを突撃取材してきました。



突撃!

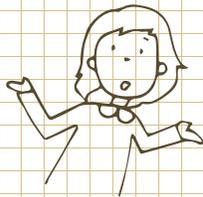
jimanなゼミ

その前に

ゼミってなあに?

Q.

どうやって入るの?



A.

希望をもとに配属が決定されます。配属に必要な科目が課せられることもあります。

Q.

いつ始まるの?



A.

配属の時期は学科によってさまざまです。およそ大学4年間の後半、3年生くらいから開始します。1,2年生の間は、興味のある分野を見つける期間ともいえます。

Q.

ゼミとは?



A.

少人数で、ある専門的な分野やテーマについて研究や討議をおこなう学生主体の学習形態のことで、大学の集大成となる卒業研究をおこなうためのものです。

Q.

人数は?



A.

研究室の体制によってさまざまですが、教員一人当たり3~5名です。

県大jimanって?

県大jimanは、学生・教員・職員で構成される編集部によって作られる、滋賀県立大学の広報誌です。

今年で創刊7周年の県大jiman。今回の14号は、さらにグレードアップするべく、紙面をリニューアルしました。新しい県大jimanをお楽しみください!

年2回発行

夏号 7月上旬

冬号 2月下旬

(予定)

14号は

私たちが作りました!

14号と一緒に作り上げた仲間をご紹介します。似顔絵はお互いに描き合いました!

他学部の先生との話は楽しかったです。

地域文化学科
1回生 分部 敬多



これからも県大jimanを
よろしくお願いします。

人間関係学科
1回生 福本 萌



リニューアル第一弾!
力入ってるので、
お楽しみください!

生活デザイン学科
4回生 福島 渚



今号にて初めての
体験もあって、
自分の糧に
なりました!

人間関係学科
1回生 井上 友希



私の持てる力の
全てをぶつけました。
是非楽しんで下さい!

生活デザイン学科
4回生 宮川 侑子



皆の思いが詰まった
県大jimanになりました。

機械システム工学科
教員 河崎 澄

1ページですが、
担当もられました。

生活デザイン学科
1回生 中道 千尋



新装開店!リニューアル!!

リニューアルは普段よりも
パワーのいる作業。
OBや学生、スタッフの
気持ちと愛が詰まっています!

生活デザイン学科
教員 佐々木 一泰



スタッフ一丸となって作成しました。
ご協力いただいたみなさん、
ありがとうございます。

事務局
池田 恭子



事務局
玉井 大輔



県大jiman14号
制作サポート
環境科学部 8期卒業
atelier minori

募集

県大jimanと一緒に作ってみませんか?

興味のある方は気軽にお問い合わせください。
▶経営戦略グループ(A0棟学生支援センター裏側)
E-mail | keiei_senryaku@office.usp.ac.jp



研究では、主に環境大気・水質を扱う。メインの調査地域である屋久島では、大陸からの越境大気汚染物質による環境影響を明らかにするため渓流水の酸性化や樹木枯損について調査研究を行っている。

学科一のハードな研究室

「今も、水俣に2週間分析に行っている学生や、昨日から屋久島調査に行った子もいるね。屋久島は今回2週間だけど、その前は3か月くらい行っていたかな。」

そう語る先生の言葉から、ゼミの多忙さとハードな活動内容がうかがえる。「忙しい」「過酷だ」とゼミ生が口をそろえるのも納得だ。

永淵ゼミは、主に「環境汚染」について研究している。調査地は屋久島をはじめ、富士山・乗鞍岳のりくだけ・伊吹山・対馬・沖縄といった日本各地にとどまらず、モンゴルやインドネシアといった海外にもおよぶ。こうした地域に赴いて現地調査し、大学に戻ってその大気質や水質を分析、論文にまとめるというのが永淵ゼミのスタイルである。

「授業以外は基本的に調査。新しいことをどんどん発見していくのも大切な仕事だからね。特に環境科学という分野は発展途上で、去年



Seminar Data

環境科学部

環境生態学科

環境動態研究室

ながふち おでむ
永淵修ゼミ

B3-203

事実と思われていた事が今年そうでなかったということも出てくる。

研究はバリバリしていかないと。そんな永淵先生のもとで学ぶ学生も意識が高い。ゼミ生の久郷さんや池田さんは、学科一ハードなゼミと知りながら、自らの成長につながると思え、永淵ゼミを選んだ。

「正直、忙しさは予想以上ですが（苦笑）、それ以上に自分自身の成長を実感しています」というゼミ生。研究に対して真摯なゼミの雰囲気を感じられた。

研究には体力も必要

「マイブームはテニス。男子テニスの顧問もやっているよ。そうそう、最近テニスのしすぎで、腰を痛めてね。この前、手術をしたんだけど、灰になるまで腰にポルトが2本残ることになったよ（笑）」

先生がテニスを始めたのは、社会人になってから。学生時代はずっと野球をやっていたそうだが、人数を多く集めなければならない

卒業後のゼミ生たち

野球に対し、壁さえあれば1人でもできるというテニスの手軽さに惹かれて始めたそうだ。「研究で山に登ることも多いから、体力は必要。学生も、学校に泊まり込んで研究をしたり、タフな子が多いね。」

やはり理系で専門職に就くには学部卒では厳しく、大学院への進学率は高い。今年大学院を卒業するゼミ生は、1人が薬品製造会社、もう1人は日本でもトップの水銀分析機器への就職を決めている。これから就活に入る大学院1年のゼミ生は「ここで培った経験を活かして頑張りたい」と語った。



滋賀県北部で雪解氷の調査

NAGAFUCHI
永淵ゼミ

環境問題に向き合う
スティックなゼミ



HOSOMA 細馬ゼミ

人間観察のゼミ



取材が終わり、研究室を退出する我々取材陣に「蛍の光」を弾きながら見送ってくれた細馬先生。



ゼミ室にて30回生5名のみなさんとともに(右から)榎さん、八木さん、木村さん、加藤さん

Seminar Data

人間文化学部

人間関係学科

細馬宏通ゼミ

D3-201



ウザい研究!?

人の言葉と動作がどういう関係にあるか研究している細馬ゼミ。言葉と動作はあらゆる場面に現われてくるので、当然研究対象も多岐に渡る。

自ら「言葉にするのが難しい」という細馬先生の研究。「例えば、板が床に倒れたときの「ボタン」という音を、ジェスチャーを使って表してもらおう実験をし、何気ないその動作の中で、どの音のときにどのように手が動いているか観察し、法則を見出していきます」と、先生自身もたたくさんのジェスチャーを用いて実演。

「いちいち言葉にしなくても誰もがやっている動作をひとつひとつすべて言葉にする。何ともウザい

研究をやってるんですよ。普段スルーしている言葉と動作の関係をほじくり返してみると、人は言葉と動作をリズムミックスに構成することによって、言葉をより調子よく出やすくし、相手に記憶されやすいフレーズを作っているんです。そんなことを日夜研究している。

色んな顔をもつ先生

「独特な魅力があり、多趣味な先生」。ゼミ生がそんな風に語る先生は、バンド活動も行っている。「かえる目(かえるもく)っ」という名前前でCDを3枚出しています。バンドではギターとボーカル、作詞作曲もやっています。大学の近辺では、カフェエ朴やスミス記念堂、半月舎でライブをやっています。

アイドルやテレビ番組も研究?

ゼミでは「AKB48」や「笑っていいとも」の動画を見ることもあるという。「研究では、日常生活の映像を主に扱うことが多いんだけど

ど、それだけではなく、PVやテレビ番組のような人工的な映像にも構造があるはずだね。なぜここで映像をカットしたのか、ここでどういう動きがあったのか、などを検証すべく、細切れになった「AKB48」の映像を1カットごとに分析したそうだ。「笑っていいとも」の場合は、生放送でのカメラの切り替えから、番組の構造を知り、コントロールするディレクターの頭の中を想像する。

「今映っていることではなく、次何が起こるか人を予測している。「笑っていいとも」のような生番組の場合は、ディレクターがどんな予想をしているかが、カメラの切り替えに現れるわけですね。それを分析するのがまた楽しい」。

研究を楽しんでいるのは先生だけではないらしい。ゼミ生の木村さんは、



琵琶湖畔で拾った流木。授業で指示棒として活躍中。



プライベートな時間は大体原稿を書いているという細馬先生。最近では趣味で書いていた「あまちゃん」についてのブログが原作者の目に留まり、書籍を出版することに。

映像を見て、人の行動と話している内容を関連付けて分析することに面白さを見出し、細馬ゼミを選んだという。また、同ゼミ生の八木さんは、実際のゼミ活動を経験し、「普段の生活の中でも意識できるので、新しい視点が持てて楽しい」と語った。



8 城まる君
1987年、彦根城
一帯で開催され
た世界古城博覧
会のマスコット。
公園にひっそりと
佇む姿を発見。



7 井伊直弼像
銅像よりも、バックの紅葉が
とても綺麗だと話題に。

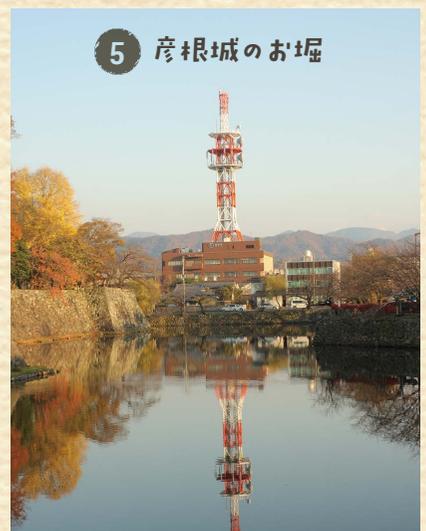


番外編 ちょこっと 遠くへ 足きのばして 行ってみよう!

10 龍潭寺 彦根駅から約15分
だるまがたくさん
あるお寺。佐和山
を借景とした広い
庭があり、落ち着いた
雰囲気です。



9 大師寺
ねころぼう
寝弘法さんと一箇所七
福神が有名なお寺。他
にもさまざまな神様が祀
られていて飽きない。
おしゃべりな住職さん
のお話も面白く、神社
の成り立ちが尼さんか
らだと驚いた。



1 ケヤキ並木
秋になると紅葉して道
まで黄色に染まります。
散歩コースにもってこ
い。道の途中には四季
を詠んだ俳句の看板も。



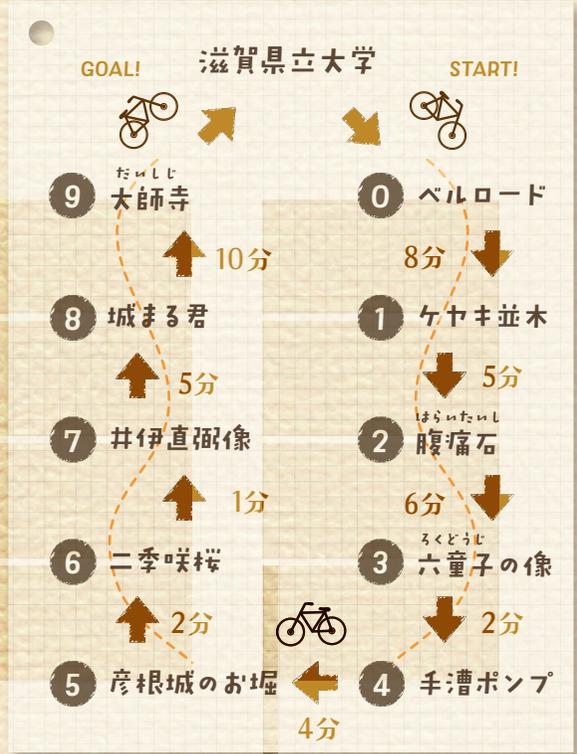
2 腹痛石
細い路地の脇に据えら
れていました。さわると
腹痛が起きるとい
う迷信は、この石が盗
まれないようにする
ために誰かが作った
話だとか。



3 六童子の像
せんと君の作者が作
った六童子のモニュ
メント。四番町スク
アに点在する六童子
すべて巡ると願いが
かなうらしい。じっ
と見ていると愛着
がわく。



4 手漕ポンプ
四番町スクアで昔な
がらのポンプに遭
う。通りすがりの
おじいさんたち
から使い方を伝
授される。ポン
プもおじいちゃん
もまだまだ現役
です!



特集2 県大jimana 旅行社 presents

2時間あったら行ってみよう! ちょこっと 自転車ツアー

『県大の近くって何があるんだろう...?』
県大jimanaスタッフがそんなあなたにぴったりの
ツアーを考えました。

記載の所要時間は、自転車により移動をした場合の目安です。天候や道の
状況など様々な要因により変化する可能性があります。



インフォメーション

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択されました

文部科学省が2013年度から取り組む「地(知)の拠点整備事業」について、滋賀県立大学より申請した「びわ湖ナレッジ・コモンズ 地と知の共有・共創自立圏の形成」が採択されました(全国では申請数319件に対し採択数52件)。

この事業は、本学が県東北部唯一の総合大学として多様なシーズ・実績を活かし、関係自治体などとの連携のもと、少子高齢化や若者人口減少に起因する様々な地域課題に対し、教育、研究、社会貢献の観点から解決に取り組むものです。

これらの取組を通じて、本学の地域志向を明確にし、地域と大学が人材を“共有”し、地域を“共創”する自立圏域の形成を目指します。

びわ湖ナレッジ・コモンズ

Biwako Knowledge Commons 地と知の共有・共創自立圏の形成

「浜の会所」落成式および「竹の会所」祈念碑除幕式開催

環境科学部の陶器浩一教授、永井拓生助教を中心に、気仙沼市、宮城大学とともに、「域学連携」地域活力創出モデル実証事業に取り組んでいます。この事業は、東日本大震災の被災地である気仙沼市において、全国から集まった学生ボランティアと地域住民とが交流し、お互いに学び、楽しむ場を創造し、かつそれを定期的・継続的に実施する活動を行うものとするものです。

浜の会所は、地域に生育する竹1,000本を学生自らが伐り出してロープで縛り、地域の赤土を踏み固めて築きました。2013年9月21日に行われた「浜の会所」落成式、「竹の会所」祈念碑除幕式には気仙沼市長、本学理事長らも列席され、多くの住民の方々が集まってくださいました。学生手作りのイベントやフジテレビアナウンサーの朗読会など多くの催しも行われて賑やかな1日でした。



韓国大学生訪日研修団が本学を訪問

2013年11月11日(月)、「JENESYS2.0」の一環として、韓国全土から選抜された大学生30名が『日本を感じる』をテーマに、滋賀県と京都府を訪問し地域の魅力を感じる研修のため、本学を訪問されました。JENESYS2.0とは、3万人規模で、アジア大洋州諸国及び地域との間で実施する青少年交流事業です。当日は、学長の歓迎の挨拶に始まり、本学の学生を主体とした「近江楽座」の4チームが活動発表を行いました。訪問団学生からも、「韓国語の成り立ちについて」「韓国文化」などの発表があり、実際に「お辞儀の作法」を韓国学生から教わるなど、本学の参加学生も皆積極的に参加していました。

その後の交流会では、本学のサムルノリサークルの演奏や韓国大学生のデコンドーの演武やダンス等があり、学生同士笑いの絶えない交流会となりました。

今回の交流事業を通じて、韓国の大学生が、日本の地方の強みや魅力を含め、日本ブランドや日本的な「価値」に関する理解と関心を深め、1人ひとりが日本の魅力の積極的な発信者となるのが期待されています。



受賞・表彰

- 【個人(教員・学生)】
 - 島村一平 准教授(人間文化学部第3回地域研究コンソーシアム賞(研究作品賞)/第10回日本学術振興会賞(人文・社会科学系))
 - 菊地 憲次 特任教授(学生支援センター)「電解科学技術委員会工業電解業績賞」
 - 藤木庸介 准教授(人間文化学部) 第6回茨木市景観賞 建築物工作物部門 優秀賞
 - 鈴木 祥子 さん(人間文化学部) 前期課程1回生(日本レオロジー学会 第61回レオロジー討論会 優秀ポスター賞)
 - 福井 雄哉 さん(工学研究科) 前期課程1回生(フラスチック成形加工学会 関西支部・若手セミナー ベストポスター賞)
 - 磯野 楓 さん(人間文化学部) 3回生(コクヨデザインアワード2013 特別賞)
 - 井上 剛 さん(工学研究科) 前期課程2回生(2013年度 Visual Mining Studio / Text Mining Studio 学生研究奨励賞 最優秀賞)
 - 寺倉 弘祐 さん(天文学院) 工学研究科 前期課程1回生(2013年度日本材料学会 関西支部 若手シンポジウム ポスター支部長賞)
- 【団体(学科・クラブ)】
 - 廃棄物バスターズ Enactus Japan 国内大会2013 優勝
 - 環境建築デザイン学科 生活デザイン学科 有志一般社団法人日本空間デザイン協会 DSA空間デザイン賞2013 協会特別賞 学生賞
 - 環境建築デザイン学科・生活デザイン学科 川上村木匠塾 学生有志 一般社団法人日本空間デザイン協会 DSA空間デザイン賞2013 入選

オーケストラ部

活動日時 ▶ 月・水・金・日 19:00-21:00
活動場所 ▶ B8棟 部員数 ▶ 26人

オーケストラ部は弦楽器がメインの音楽集団。高校にはあまりなく、「珍しい」イメージを持たれる。なぜかゲーム好きが多い。中には留学生も所属しているとか。練習時間に制限がなく、アットホームで居心地が良いそう。卒業生やアマチュアオーケストラと共演することもあり、学外との繋がりが強い。演奏活動を通じた地域との触れ合いが、自分たちを成長させてくれると話す。



初心者でも大丈夫! 電車でチェロとか担いでたらカッコいいですよ!



オーケストラ部 部長/浅井 裕里 さん(2回生)
大学デビューの初心者だったのに部長!!

弦楽器は珍しいのでオススメです。



オーケストラ部 谷口 拓夫 さん(M2)
小学生よりピアノを愛するマルチプレイヤー!!

クラブ C&C サークル

滋賀県立大学には、体育系文化系など約80のクラブ・サークルが活動しています。その中から今回は、吹奏楽部とオーケストラ部をご紹介します。



吹奏楽部

活動日時 ▶ 火・木 18:00-20:00
土 10:00-16:00
活動場所 ▶ B8棟 部員数 ▶ 45人

吹奏楽部は管楽器メインの音楽集団。個性的で芸術肌のメンバーが多いという吹奏楽部だが、吹奏楽コンクールにおいて全国大会までコマを進めた強者から全くの初心者まで幅広い。学外のみならず内の繋がりも強いので、学園祭や演奏会には音楽好きの先生や職員も参加している。演奏依頼を受けることが多く、地域のみさんの笑顔がやがりがいと話す。



みんなで一つのものを作り上げる喜びを感じながら、思いっきり音楽を楽しめます。



吹奏楽部 倉田 智哉 さん(4回生)
高校時代からマーチングバンドでパーカッション担当!!

部員の誕生日にはみんなから演奏のサプライズがあります!

吹奏楽部 部長/山崎 岬 さん(3回生)
小学生の頃からユーフォonium一筋!!